

DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

藍

様と

紫

様が

あたたため合うだけのお話

冬になると紫様は
冬眠してしまう
それは毎年の事ではあるが

寂しくなる事には
違いが無い
そこで私は
一計を案じる事にした

こういう
寒い冬だからこそ
容易にとれる方法だ

藍様と紫様があたたため合うだけのお話

暖を取るには
火が必要である

そして寒くなれば
当然火を求める

その火が消えて
しまうと寒くなる

らーん
火が消えてるわ

火鉢に
炭を入れて
頂戴！

申し訳ありません
紫様

あいにく炭は
切らしております

あれでいいから
持ってきて頂戴

そうなの？
じゃあ練炭が
あったでしょ？

すみません
練炭も
切らしております

最後の
練炭は
橙の炬燵に
使って
しまいました

Zzzzz

とにかく
こう寒いとやって
いられないから
何とかして頂戴

ではこういうのは
如何でしょう？
私が紫様の傍について
体を擦り暖めるとい
うのは？

そうですね…
なんとか…

当然の成り行きのように
見えるが実際には
火もちが悪い黒炭を
紫様の火鉢にくべていた
私の作戦である

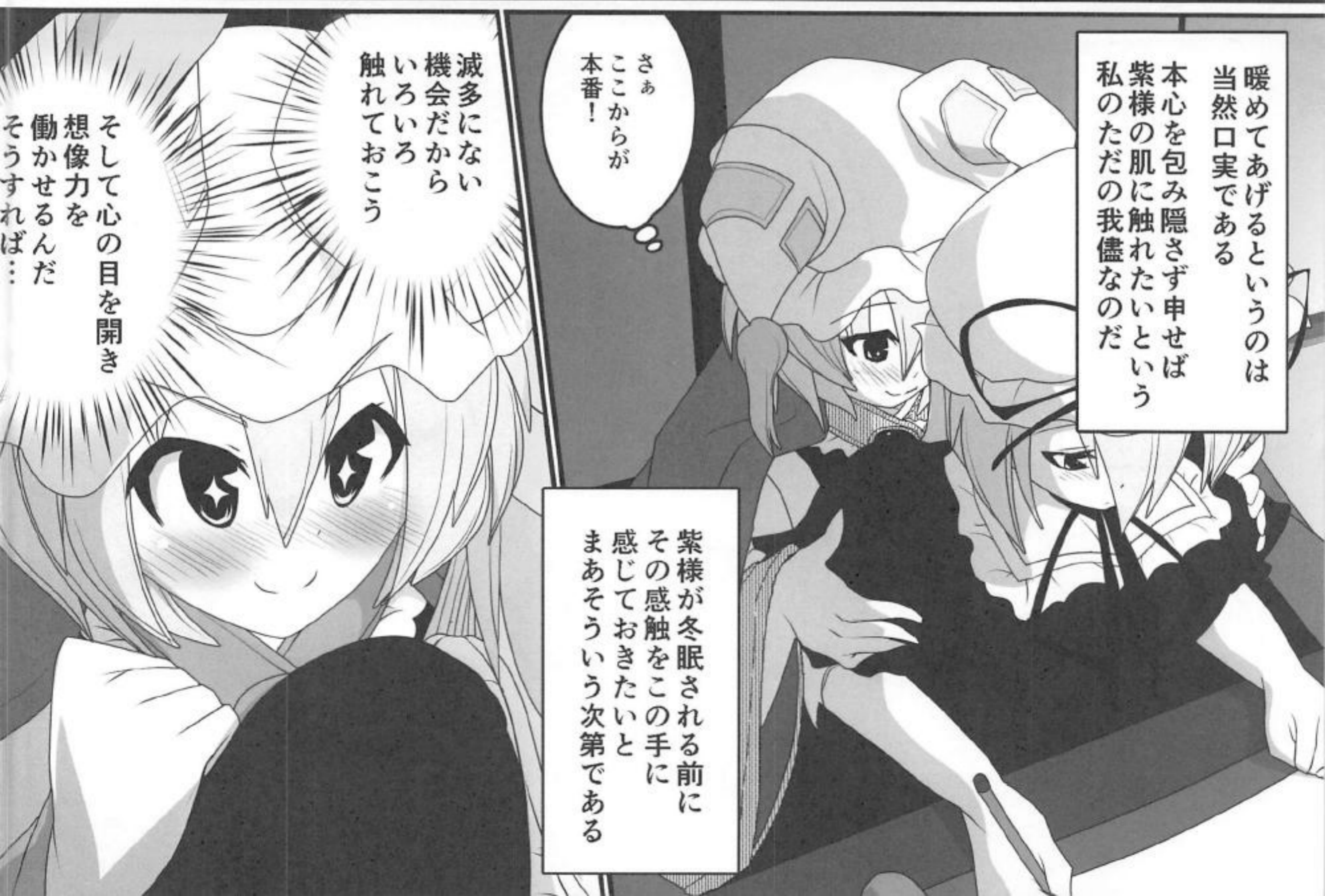
それでいいわね
お願いするわね



それでは後ろ
失礼します

よろしく
頼むわね

そう気を負わ
なくてもいいわよ
これを書き
終わるまでだから




暖めてあげるといふのは
当然口実である
本心を包み隠さず申せば
紫様の肌に触れたいという
私のただの我儘なのだ

さあ
ここからが
本番！


紫様が冬眠される前に
その感触をこの手に
感じておきたいと
まあそういう次第である

滅多にない
機会だから
いろいろ
触れておこう

そして心の目を開き
想像力を
働かせるんだ
そうすれば…



紫様の胸を心の目と
手で感じる
事ができる♡



その寛大なる
ご配慮に
感謝いたします！

ああっ紫様
不肖八雲藍
ここまでしても
咎めるでもなく
自由に振る舞わせて
頂けるとは！

暖めて頂戴とは言ったけど…これは一体？
確かに体が火照って暖まって来たけれど…

真面目に暖めてくれてるのかもしれないし…
感じてる素振りを式の前で見せるのははしたないわね…

いっしょ♡♡♡

え？
そこも
行っちゃうの？

う…上手いわね
藍…
何時の間にこんな
テクニクを…

でもっ！
式の手にかかって
逝かされるなんて
いけないわ！

しかしこれは…
…気持ちいい！
ダメッ…
イクっ…！





逝っちゃおう.....!

キリ

藍に逝かされ
ちやっただ…



紫様…?
あの…
大丈夫ですか?



もう
いいわ!

寝るから
床を用意
して頂戴



…えっと
寝床の用意が
出来ましたので



早く!

はいっ!

ああ…やりすぎ
てしまった
紫様怒って
いらっしゃる…



私はこれにて失礼
いたします



お待ちなさい

その寝床も
暖めてから行きなさい

えっ…と
どういう
事でしょう？



出したばかりでその
布団も冷たいでしょ？
だから貴方がその
布団の中に入って
暖めて行きなさい
と言ってるの！

はっはい！

怒られた…

冷たい…

ふうふう

紫様のために
このお布団を
暖めます…

私のこの体の
温もりを直接
差し上げたかった
のですよ紫様—

藍は紫様と
暖め合いたかった
ですよ—

声に出てるわよ藍？
それとも
聞いて欲し
かったのかしら？

そして私も
何故か裸で…
これは夢ですか!?

わわっ紫様が
裸で私の前に
いらっしやる？

夢って事にして
おいてもいいわよ？
そのほうが
やりやすいならね藍

今度は私が貴方を
暖めてあげるわ！

はいっ！紫様っ
ああっ夢なら
覚めないでっ！

まずはこのお胸：
本当に大きいわね？
大きくて
生意気で
私よりちょっとだけ
大きいのかしら？

すみません
すみませんっ
生意気な
胸ですみません！

お漏らしし
ちやったまいたいに
ぐっしよりね
期待してたの
かしら？

はい

素直で
良い子ね

素直な子には
ご褒美をあげましょう

さあ藍
お股を開いて

藍は嬉し
かったり
恥ずかしかったり
しますよ紫様



さあ
入るわよ

ぬるっぬるで
滑りがいいわね
全く抵抗感がないわ

ああ…っ
ありがとうございます
ございますう!!

紫様もっと
激しくお願い
しますっ!!

おねだりかしら?
今日の貴方は
素直で私も嬉しいわ

私の指使いは
どうかしら?

はいっ
とてもイイっ…
感じですよ!

逝きたくなったら
いつでも
逝っちゃって
いいのよ?

あっ…
ああっ…紫様っ
逝きます
逝きそうですっ!!





あー
まじか
マジか
マジか

私の式
可愛い子

考えてみれば
そうね…
私が眠ってしまう前に
こうして欲しかった
ってところかしらね？

策を巡らせたり
回りくどい
事をしなくても
素直に言ってくれれば

私と紫様とで
暖めあう事が
できた…と？

どうかしらね？
私もこれで
素直になれないところが
あるから…

でも今日はいいわ
貴方の温もりを
頂戴…

…ううん
そうじゃない
わね一緒に温まり
ましよう藍!







ありがとうございます
紫様 ああああーっ ♡

はあ

あ

はあ

はあ

はあ

あ



藍

また…春になるまで
私の事お願いね

この子の
もうひとつの
企みの対応に
向かいますかね

307

zzz

少し後
橙が紫様の部屋へ
練炭を持ってくる

ありがとうございます
でも貴方も
それがないと
お寒いでしょう？

紫様！
練炭をお持ち
しましたよ！

そういえば
そうですね！
猫はこたつで
丸くならないと
眠れないんですよ

なら：
ここで一緒に
暖まっていくと
いいわ

ありがとうございます
ございます
紫さま！

…あれ？
藍さまも
ご一緒に？

あたたまるなら
みんな一緒にね
♡

あとがき

「でも、桜井さんってエロとか描かないですよね？」
「いやいやそんなことはないですよ？おっぱいとか大好きだし！」
というやりとりがあったって今回の漫画は描かれました。
ゆからんのエロ漫画いかがでしたでしょうか？

毎年の事とはいえ、冬になると冬眠をする紫とのしばしの別れは藍にとって寂しいものであるようです。
紫が眠ってしまう前に躰を重ねて暖めあいたいそんな風に思うのも自然の流れではないか？と桜井は思う次第です。

ところで、春になれば紫は目覚めてきます。

そして春はケモノにとってはさかりの季節です。

そこではまた冬とは違ったゆからんの浮き浮きとした抱擁の様子が目に浮かびます。
機会があればそういうお話もお届けしたいと思います。

それではまた次のお話でお会い致しましょう。

二〇一四年十二月二十九日

桜井天智 拝



おくづけ

藍様と紫様があたため合うだけのお話

著 者
桜井天智

発行日
2014年12月29日

発 行
さくらい本家
<http://sakurai.dojin.com>

印 刷
みかんの樹



さくらい本家

<http://sakurai.dojin.com/>

東方Project Fanbook